

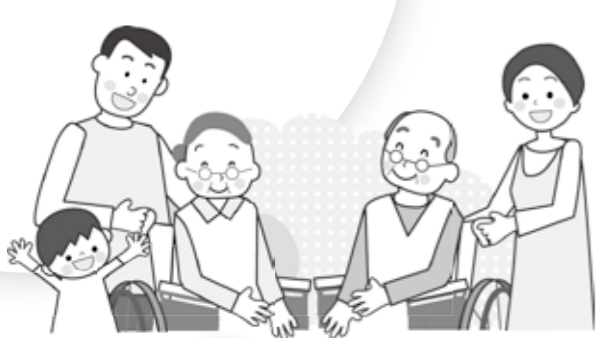
# 見えてきた 高齢者の実情と課題

【お問い合わせ】保健福祉課 高齢者介護保険係 ☎62-3111 内線184・185

## 【飯山市高齢者実態調査概要】

市内にお住まいの高齢者（介護施設等の入居者を除く）の生活実態や介護サービスの利用に対する実情・意向を把握し、高齢者が安心して生活できるための保健福祉サービスの充実、支援の必要な方への早期対応に向けた施策の充実、今後の老人福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料とするため高齢者実態調査を実施しました。今回は長野県統一調査項目と飯山市独自調査項目の2種類を行いました。

飯山市の高齢化率は30.6%で、長野県の高齢化率26.5%と比較して高い状況にあります。また、施設入所や在宅介護サービスを利用している介護保険の要介護・要支援認定者は1296人17.86%となっています。



**デイサービス・ショートステイなどの整備が課題**  
介護サービスの利用状況は、必要なサービスを十分利用しているが68.3%、不十分ながら利用しているが14.7%で、利用内容はデイサービスが一番多く、ついでショートステイとなっています。また、介護サービスの不十分な点として「予約がいっぱいで利用できなかった」が29人いて、そのうち9人がデイサービス、13人がショートステイをあげています。デイサービスやショートステイは、これまで整備に力を入れてきましたが、引き続き需要に見合った整備が課題です。

**在宅志向の強い飯山市。必要なときに必要なサービスが利用できるように**  
施設等への入所希望は、希望しない人70.9%で、以前の調査と同様に在宅志向が強い傾向です。

入所希望の理由は、家族に迷惑をかけたくない53.7%、家族は介護の時間がとれない42.1%が高くなっています。希望する施設の形態は「自宅近くの家庭的な小規模個室施設」、「大規模で料金が低額な相部屋施設」、「大規模でユニット型の個室施設」などでした。また、元気高齢者等へのアンケートでは、もし介護が必要になった場合、「できる限り自宅で」が65.9%と高くなっています。

自宅で暮らし続けるために必要な支援としては、必要な時にショートステイやデイサービスが利用できることが求められており、必要な時に必要なサービスが利用できるように、在宅サービスの一層の充実が課題です。

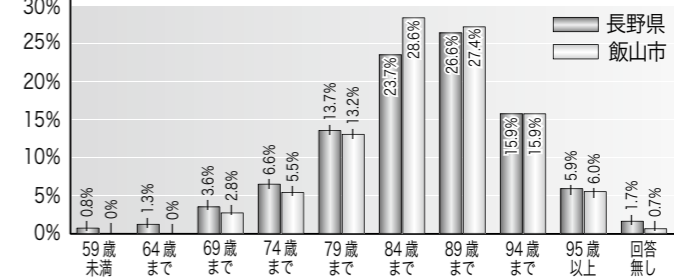
**介護者の高齢化が顕著に**  
介護者の年齢は、65歳以上が32%で、その内75歳以上の後期高齢者が20.1%となっており、介護者の高齢化、老

## ■飯山市高齢者実態調査の対象者等

在宅の要介護・要支援認定者全員	971人 (回収率92.17%)
元気高齢者・特定高齢者の約20%	1,180人 (回収率83.38%)
合計	2,151人

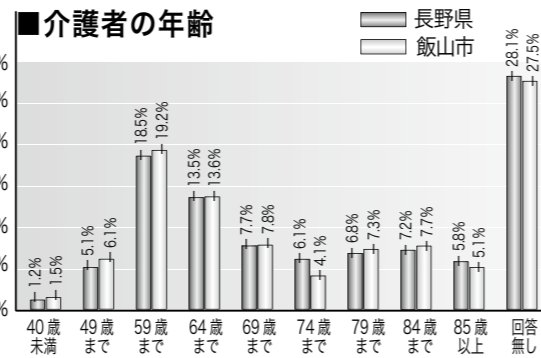
調査基準日：平成22年12月1日

## ■調査回答者年齢構成（要介護・要支援認定者）



回答者は、男性が31.1%・女性が68.8%で、要介護者の平均年齢は、長野県集計83.5歳、飯山市84.3歳となっており、飯山市では、75歳以上の後期高齢者が9割を超えています。

老介護の増加は、これからの大きな課題です。

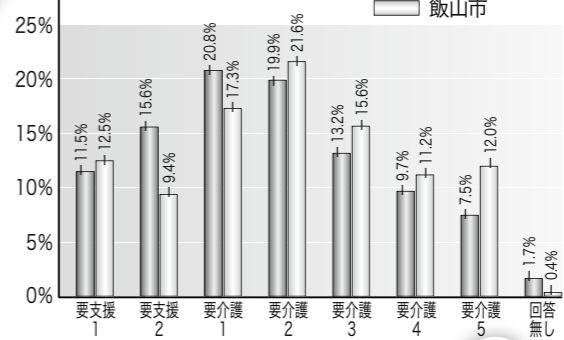


また、介護者の日頃困っている点として、「日中、家を空けるのを不安に感じる」「精神的なストレスがたまっている」「本人の言動が理解できないことがある」「現在の状況を理解してもらおうのが難しい」「本人に正確な症状を伝えるのが難しい」「身体的につらい」「経済的につらいと感じたときがある」などの意見が多くあげられました。

**一人暮らしの方の心配事など**  
91名の皆さんにアンケートの回答をいただき、日常生活

**要介護度重度者が県平均と比べ高いことが判明**  
要介護・要支援認定には、要支援1・2、要介護1～5の7段階がありますが、回答者の要介護度をみると、要介護3・4・5の重度者が38.8%で、長野県集計30.4%と比べ、重度者の割合が高くなっています。

## ■要介護度調査



**介護が必要になった要因は、老衰、脳卒中が上位に**  
介護・介助が必要になった主な原因をみると、①高齢による衰弱、②脳卒中、③認知症の順となっており、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）が原因との回答が3割となっており、県集計の第3位に対し飯山市

は第2位となっています。

## 暮らしの状況

要介護・要支援認定者の年金は、国民年金が71.4%、厚生年金が20.2%です。元気高齢者の年金は、国民年金64.5%、厚生年金が30%です。県集計と比較すると、飯山市は国民年金の比率が高いことが伺えます。

## 健康への関心は低め。予防教室等の充実が課題

要介護・要支援認定者で40代以降健康のために留意したことを見ると、県集計と比較して全体的に健康に気を遣っていた人が少なめでした。元気高齢者等で、介護予防に意識して取り組んでいる人は37.2%で、興味はあるが取り組み方がわからない11.3%、取り組みたい11.2%、関心がない12.1%でした。予防教室の充実・PRや、集落サロンを全区に広げて活用していただくことが課題です。また、iネットで放映している「健康チャンネル」の映像を見ながら運動を行うのも手軽にできる介護予防となります。

## 自由記述では様々な意見が

自由記述意見では、公共施設に対して、トイレの洋式化や段差の解消・手すりの設置についての要望が多くありました。市政全般については、除雪について・道路整備について・交通について・活性化についてなどの要望があり、福祉については介護施設の増設・おむつ券やタクシー券の支給拡大・介護予防事業の充実についての要望がありました。

## 調査結果を基礎資料に、さらなる保健福祉施策の充実を

今回の調査では、長野県全体の数値と飯山市の数値を対比することにより、飯山市内の状況をより鮮明に把握することができました。

市では、今回の調査にお寄せいただいた実態状況や意見を、今後の老人福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料とさせていただきます。とともに、飯山市の施策充実に活かして、高齢者が安心して生活できるための保健福祉サービスの充実につとめてまいります。

なお、詳細な集計結果等は、飯山市ホームページに掲載しています。



## 介護保険料への考えは

介護保険料と介護サービスの関係についての考えは、「サービス水準維持のために引き上げもやむを得ない」・「現在以上のサービス充実のために引き上げもやむを得ない」と考える人は、要介護・要支援認定者48.3%、元気高齢者等37.9%でした。